

基礎から応用技術でみるゴムのトライボロジー

主催：日本ゴム協会研究部会 トライボロジー研究分科会

協賛：日本化学会，高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本機械学会，日本合成樹脂技術協会，日本材料学会，日本接着学会，日本複合材料学会，プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会（順不同）

ゴム材料の摩擦・摩耗は製品の性能や寿命に大きな影響を及ぼす要因の1つであるが，複雑な現象ゆえに十分に理解されているとは言い難い。本シンポジウムではゴムのトライボロジーの基礎的理解を助けるとともに，その応用につながる新規技術を紹介する。

日時：2017年1月25日（水） 午前9時50分～午後5時10分

場所：東部ビル5階 AB会議室（東京都港区元赤坂1-5-26）TEL 03（3401）2957

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員23,760円 日本ゴム協会学生会員5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員） 会員外 32,400円

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> よりお申込みください。（定員50名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。開催日が近づきましたら，開催のご案内を発送いたします。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第231回ゴム技術シンポジウム係

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03（3401）2957 FAX 03（3401）4243 E-mail：komatsu@srij.or.jp

演 題	講 師・座 長
9：50～9：55 開会のあいさつ	トライボロジー研究分科会主査 岩井 智昭
9：55～10：55 ソフトマテリアルの摩擦摩耗の基礎中の基礎 ゴム・プラスチックなどのソフトマテリアルの摩擦摩耗に関して，教科書的な基礎知識について解説する。	【座長】産業技術総合研究所 二瓶 光弥 金沢大学 岩井 智昭氏
10：55～11：55 エラストマーの摩擦・摩耗・破壊と界面状態のモニタリング 本講演ではまず，エラストマーを滑らせたときに生じる，摩擦・摩耗・破壊の大まかなメカニズムを説明する。つぎに，モデル系を用いた，界面で生じる変形・摩耗粉生成・き裂進展や応力の可視化に関する実験例を紹介する。	九州大学 山口 哲生氏
12：55～13：55 氷雪のトライボロジー 氷・雪の物性，氷・単結晶氷・積雪の摩擦特性，摩擦機構，カーリングの摩擦	【座長】金沢大学 岩井 智昭 富山大学名誉教授 対馬 勝年氏
13：55～14：55 氷の性状とタイヤの氷上性能 室内タイヤ試験機を用いた氷とタイヤの摩擦解析を紹介する。	産業技術総合研究所 二瓶 光弥氏
15：05～16：05 高周波粘弾性評価技術とその応用 メガヘルツ粘弾性測定装置によって簡便に表面粘弾性を評価できる様になっている。ゴムの劣化などに応用した事例をご紹介します。	【座長】化学物質評価研究機構 伊東 寛文 高周波粘弾性株式会社 小俣 順昭氏
16：05～17：05 スーパーグロースカーボンナノチューブ/ゴム複合材料による高機能化	日本ゼオン(株) 武山 慶久氏
17：05～17：10 閉会のあいさつ	トライボロジー研究分科会副主査 二瓶 光弥

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いします。